



# 研究発表の場としてのリポジトリ：歴史認識問題の事例から

木村， 幹

---

**(Citation)**

Kernel開設5周年記念講演会:1-19

**(Issue Date)**

2011-10-26

**(Resource Type)**

learning object

**(Version)**

Version of Record

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81003448>



# 研究発表の場としてのリポジトリ - 歴史認識問題の事例から -

神戸大学大学院国際協力研究科 教授  
木村 幹

---

---



"Kan Kimura"

Search

Libraries to search Libraries Worldwide

Limit to full text articles Advanced Search

Print Share Ask Us!

Chat with a librarian

Search results for "'Kan Kimura'" > 'Kimura Kan' limited to Libraries Worldwide

- Databases (37)**
  - WorldCat.org (23)
  - OAlster (21)
  - Business Source Complete (2)
  - WorldCat (2)
  - ACM Digital Library (0)
  - Show more ...

- Available online**
  - Full text articles

- Format**
  - All Formats (25)
  - Internet resource (21)
  - Peer-reviewed (2)
  - Book (2)

- Refine Your Search**
  - Author**
    - All Authors
    - Kimura Kan (23)
    - Kan Kimura (2)
  - Year**
    - 2007 (3)
    - 2006 (5)
    - 2005 (7)
    - 2004 (2)

Results 1-10 of about 25 (1.02 seconds) << First < Prev 1 2 3 Next >

Select All Clear All Save to: [New List] Save Sort by: Library and Relevance Save Search


1. **民主化の韓国政治：朴正熙と野党政治家たち1961-1979 / Minshuka no Kankoku seiji : Paku Chonhi to yatō seijikatachi 1961-1979 = The precondition of Korean Democratization, South Korea 1961-1979 / Kan Kimura**  
 by 木村幹, 1966- Kan Kimura  
 Book  
 Language: Japanese  
 Publisher: 名古屋大学出版会, Nagoya-shi : Nagoya Daigaku Shuppankai, 2008.  
 Database: WorldCat  
 Libraries that own this item: [University of Washington Libraries](#)

2. **A Dangerous Current in Roh's South Korea.**  
 by KAN KIMURA  
 Article : Peer-reviewed  
 Language: English  
 Publication: Japan Echo, Aug2004, Vol. 31 Issue 4, p44  
 Database: Business Source Complete  
 Libraries that own this item: [University of Washington Libraries](#)

3. **Historical Perceptions and South Korea's Changing Identity.**  
 by KAN KIMURA  
 Article : Peer-reviewed  
 Language: English  
 Publication: Japan Echo, Oct2005, Vol. 32 Issue 5, p11  
 Database: Business Source Complete  
 Libraries that own this item: [University of Washington Libraries](#)

4. **Chousen hantou wo dou miru ka**  
 by Kan Kimura


- English (6)
- Korean (1)
- Content**
- Peer-reviewed (2)
- Topic**
- History & Auxilia... (1)
- Political Science (1)


5.  **朝鮮 / 韓国における近代と民族の相克：「親日派」を通して**  
by Kan Kimura  
Internet resource  
Language: Japanese  
Publisher: 2000 政治経済史学会  
Database: OAIster  
Libraries that own this item: [WorldCat Libraries](#)

6.  **韓国ナショナリズムから見た日米韓関係**  
by Kan Kimura  
Internet resource  
Language: Japanese  
Publisher: 2001 政治経済史学会  
Database: OAIster  
Libraries that own this item: [WorldCat Libraries](#)

7.  **韓国政治社会システムから見た統一問題**  
by Kan Kimura  
Internet resource  
Language: Japanese  
Publisher: 1997  
Database: OAIster  
Libraries that own this item: [WorldCat Libraries](#)

8.  **日本における「地域研究」と「外国研究」としての朝鮮 / 韓国研究：政治学を中心に [本文:韓国語]**  
by Kan Kimura  
Internet resource  
Language: Japanese  
Publisher: 2006 ソウル大学校釜山国際韓国学研究院  
Database: OAIster  
Libraries that own this item: [WorldCat Libraries](#)

9.  **グローバル化の中の隣国関係：日韓関係を中心に**  
by Kan Kimura  
Internet resource  
Language: Japanese  
Publisher: 2006 国際東アジア研究センター  
Database: OAIster  
Libraries that own this item: [WorldCat Libraries](#)

10.  **韓国大統領の政治的リーダーシップとその政治的基盤：民主化の時代の終焉**  
by Kan Kimura

# 研究者という仕事

- 何のために研究し、何のために論文や本を書くのか
  - レフリー付き有名雑誌に乗せるのか
  - どうして「引用件数」が重要なのか
  - 何故、「英語で書け」と言われるのか
  - レポジトリに乗せるのにはどういう意味があるか
- 
-

# 研究という営み

- 過去の知的生産物から何かを継承する
- その欠陥や限界を見つけ出す
- 新しい要素を付け加えてより完成度の高いものにする
- 自分の能力にあまる所はマーケットに戻し、誰かにやってもらう

# 「オタク」と研究者

- 発信先の違い: 自分に対してか、他人に対してか
  - 「プロダクト」の作成
  - 「消費者」(或いは聴衆)の必要
  - 「聴衆のいない研究」はないのと同じ
  - 「聴衆を獲得する」のも研究の一部
- 
-

# 「聴衆」を獲得する方法

- より多くの人に読んでもらえる媒体で出す
    - 1) 有名レフリー付き雑誌で書く
    - 2) 一般啓蒙書に近い形で出す
    - 3) マスメディアに載せる
  - より多くの人々が理解できる言語で書く
    - 英語で書く、
    - (より多くの読者がいる) 現地語で書く
  - 書き手の信頼度を上げる(ブランド効果)
    - 1) 学会で報告して知ってもらう
    - 2) コンスタントに論文を書く
    - 3) ポストを取る、有名になる ets.
- 
-



# そもそも我々はどうやって先行研究を探すか

- 先行研究を探し出して、そこから芋づる式に著作リストを作る
  - 図書館に行って直接見る：大学院生は何故書庫に入れるか
  - 有名雑誌を毎号小まめに読む
  - 学会等発行雑誌の文献レビューを見る
  - インターネットで検索する
- 
-

# 大学院生、そして我々にとっての課題

- 出発点:「誰もあなたが誰で何をやっているか知らない」
- まず「何をやっているか知ってもらう」ことが重要
- その最も身近で効果的な手段としてのインターネット

# 歴史認識問題とリポジトリ

- レフリー付雑誌の限界
    - 1) レフリーのジャッジは絶対的ではない
    - 2) 政治的に微妙な問題については、意見がわか  
れる
    - 3) 長大な叙述 (Story telling) を要する研究をどうす  
るか
  - 次善の策としての「とりあえず書ける媒体」の利  
用
  - → が、それでは「聴衆」は得られないし、「評価」  
を得ることも難しい
- 
-

# 「メディア・ミックス」戦略の採用(1)

- 使える媒体をその特性に合わせて使い分ける
  - 1) 研究科等の「紀要」: 基礎的な歴史研究の発表の為の「叙述」の場として使う
  - 2) 学会報告等: 方法論的なアイデアの提示、或いは、問題提起の場として使う
  - 3) 有名レフリー付雑誌: ある程度完成した、特定の事象に関するコンパクトな分析結果の提示の場として使う
- 
-

## 「メディア・ミックス」戦略の採用(2)

- 4) 専門書: 完成した研究結果の総合的発表の場として使う
  - 5) 一般書: 研究結果を社会に還元し、また自らの研究成果をより広く知らしめる場として使う(専門書への導入)
  - 6) マスメディア: 研究結果をより広く社会に還元し、メッセージを伝える場として使う
- 
-

# 具体的な配置(例1)

- 研究科等の紀要:「『歴史認識』問題と第一次日韓歴史共同研究を巡る一考察」
  - 学会報告: 'Why Are the Issues of "Historical Perceptions" between Japan and South Korea Persisting?' Workshop: The Japanese–South Korean Relationship, at The Swedish Institute of International Affairs, Stockholm, August 2009
  - レフリー付雑誌: 'Discovery of Disputes: Collective Memories on textbooks and Japan-South Korean Relations' *Journal of Korean Studies*, 2012
- 
-

## 具体的な配置(例2)

- 専門書:『日韓歴史認識問題にどう向き合うか(仮題)』(ミネルヴァ書房、2013?)
  - 『全斗煥政権期韓国のナショナリズムと民主主義(仮題)』(千倉書房、2012?)
  - 一般書:『韓国イデオロギー』(講談社メチエ、2014?)
  - マスメディア: NHK News Program ASIA 7 Days, August 21<sup>st</sup>, 2011.
- 
-

# リポジトリはどう使うか

- 既発表論文の掲載
  - 学会等の小論文の掲載
  - (特に国際学会報告分: 英語、韓国語)
  - 必要であれば基礎データも
  - → これだけでも、インターネット上で検索して見つけたり、world cat や google scholar に掲載される
  - ただ、それだけであれば参照されにくい
  - ∴ 全体像がわからない
- 
-



# リポジトリのデータを「編集」する

- 例えばホームページを作る
  - ポイント1:現状では本学のリポジトリは依然「使いにくい」
  - ポイント2:様々な種類の論文が混じりプロジェクトの全体像が見えにくい
  - 執筆リストの作成
  - プロジェクトリストの作成
  - → これにより自分のプロジェクトをわかりやすい提示する
- 
-

神戸大学学術成果リポジトリを使った研究成果公開の試み

# WEB上での論文原稿公開

2006年10月から神戸大学では、大学に所属する研究者(教員及び学生)の研究成果を広く公開する為に、**神戸大学学術成果リポジトリ**を開始しています。リポジトリに、研究成果を登録すると、大学側で論文等の掲載元に掲載許可を取り、WEB上で広く公開する、というシステムです。広く神戸大学に所属する研究者の研究成果を見ることができますので、御活用いただければ幸いです。

そこでこのホームページ上でも、著書に収録されず、また比較的古くなり入手が難しいものを中心にリポジトリに投稿、登録したものにリンク一覧を作っておきました。御関心が御ありの方は、御一読いただければ幸いです。

(2007/03/14)

### 御利用の際の注意事項

1)このリポジトリに登録されているものの多くは、あくまで「**著者原稿版**」(私が出版社等に提出したもの)であって、最終的に雑誌等に掲載されているものと同じではありません。論文が最終的に掲載されるまでには、通常、相当数の、字句や表現の訂正、更には、事実や分析の訂正、図版の作り直し等の作業が行われます。場合によっては、ここで掲載されている「著者原稿版」に含まれている明らかな誤りを校正作業で訂正している場合もあります。また、ページ数も、著者が便宜的につけたものでしかありませんので、最終的な書籍や雑誌に掲載されているものとは異なります。**従って、御自身の論文等に引用される場合には、必ず最終的な出版物に掲載されているものを直接御参照ください。**

2)掲載されている論文の中には、今から10年以上も前に執筆され、従って現在の研究動向や社会の状況と合致しないものも含まれています。従って、お読みになられる場合には、必ず、**出版・報告年度等を御確認いただければ幸いです。**

タイトル //作成者 //公開情報 //公開日 //内容紹介 //登録日 //ID

[「歴史認識」問題と第一次日韓歴史共同研究を巡る一考察\(1\)](#) //鄭, 奈美 / 木村, 幹 //国際協力論集 //16(1) //155-184 //2008-07 // //20081010

[李明博は保守政治家か](#) //木村, 幹 //東亜 //487 // //2008-02 //韓国における李明博新政権について論じた。 //20080207

[Nationalistic Populism in Democratic Countries of East Asia](#) //Kimura, Kan //Journal of Korean Politics = 韓国政治研究 //16(2) //277-299 //2007 //This study is to analyze nationalistic populism phenomenon in Japan, South Korea and Taiwan. //20071211

[グローバル化と「歴史の再発見」の中の韓日関係 \[本文韓国語\]](#) //Kimura, Kan //2007年ハンギョレ-釜山国際シンポジウム // // //2007-11 //日韓関係にグローバル化と「歴史の再発見」現象が与えている影響について論じた。 //20071211

[「地域研究」と「外国研究」としての「日本における」朝鮮/韓国研究: 政治学を中心に](#) //木村, 幹 //国際協力論集 //15(2) //33-45 //2007-11 // // //20080228

# その他の使い方

- 公的機関から発信することの意味
  - 書店への研究成果の提示
  - 論文上で異なる自分の論文にリンクが貼れる(運が良ければ、すぐに読んでもらえる)
  - SNSとの併用
- 
-

# むすびにかえて

- 「読者のいない研究は存在しないのと同じ」
  - 研究は「見つけて貰うもの」じゃない
  - あなたの研究なんか誰も知らない
  - 研究成果を「見つけ易くする」ことの重要性
  - メディアは組み合わせて使え
  - 途中経過でも取捨選択して公表できる
  - 自分の論文を「クリック」させる為の工夫
- 
-